

土地区画整理事業計画変更についての公告

彦根長浜都市計画事業彦根駅東土地区画整理事業の事業計画の変更をしたので、土地区画整理法(昭和 29 年法律第 119 号)第 55 条第 13 項の規定において準用する同条第 9 項の規定により、下記の事項を公告する。

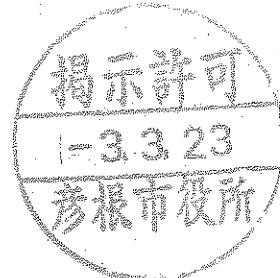
令和 3 年 3 月 23 日

彦根市長 大久保



記

- 1 土地区画整理事業の名称  
彦根長浜都市計画事業彦根駅東土地区画整理事業
- 2 施行者の名称  
彦根市
- 3 施行地区  
彦根市駅東町
- 4 事業施行期間  
平成 11 年 11 月 26 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
- 5 事務所の所在地  
彦根市元町 4 番 2 号 彦根市役所
- 6 事業計画の決定の年月日  
平成 11 年 11 月 26 日
- 7 事業計画変更の決定の年月日  
令和 3 年 3 月 23 日



彦根長浜都市計画事業  
彦根駅東土地地区画整理事業

事業計画書

第九回変更

(変更前/変更後)

令和3年(2021年)2月

彦 根 市

## 目 次

第1	土地区画整理事業の名称等	-----	1
(1)	土地区画整理事業の名称	-----	1
(2)	施行者の名称	-----	1
第2	施行地区	-----	1
(1)	施行地区の位置	-----	1
(2)	施行地区位置図	-----	1
(3)	施行地区の区域	-----	1
(4)	施行地区区域図	-----	1
第3	設計の概要 (変更)	-----	2
1	設計説明書	-----	2
(1)	土地区画整理事業の目的	-----	2
(2)	施行地区の土地の現況	-----	2
(イ)	本地区の概要	-----	2
(ロ)	地区内人口・人口密度	-----	2
(ハ)	土地利用の現況	-----	2
(ニ)	公共施設の現況	-----	3
(ホ)	公益施設及び供給処理施設の現況	-----	3
(ヘ)	公共交通施設の現況	-----	3
(ト)	市街化の現況と動向	-----	3
(3)	設計の方針	-----	3
(イ)	土地利用計画	-----	3
(ロ)	人口計画	-----	4
(ハ)	公共施設計画	-----	4
(ニ)	供給処理施設の計画	-----	5
(4)	整理施行前後の地積	-----	6
(イ)	土地の種目別施行前後対照表	-----	6
(ロ)	減歩率計算表	-----	7

(5) 保留地の予定地積	-----	7
(6) 公共施設整備改善の方針	-----	8
(イ) 施行地区に関する都市計画決定状況	-----	8
(ロ) 用途地域等	-----	8
(ハ) 公共施設別調書（同時施行を含む。）	-----	9
(7) 法第2条第2項に規定する事業の概要	-----	15
(イ) 事業施行のために必要な工作物 その他物件の内容	-----	15
(ロ) 事業の施行に係る土地利用の促進のため の必要な工作物その他の物件の内容	-----	15
2 設計図	-----	15
第4 事業施行期間	-----	15
第5 資金計画書                   (変更)	-----	16
1 収入	-----	16
2 支出	-----	18
3 年度別歳入歳出資金計画表	-----	19
第6 参考図書	-----	21

彦根長浜都市計画事業彦根駅東土地区画整理事業  
事業計画

第1 土地区画整理事業の名称等

(1) 土地区画整理事業の名称

彦根長浜都市計画事業 彦根駅東土地区画整理事業

(2) 施行者の名称

彦根市

第2 施行地区

(1) 施行地区の位置

本地区はJR彦根駅の東側に位置し、西は近江鉄道、南は主要地方道彦根近江八幡線、東は国道8号、北は一般県道彦根城線にそれぞれ接し、名神高速道路彦根インターチェンジから約1kmの至近距離にあり、交通環境に恵まれた面積は約17.7haの地域である。

(2) 施行地区位置図

別添図面のとおり

(3) 施行地区の区域

彦根市	古沢町	字南古町	の一部
同所	同町	字北古町	の一部
同所	同町	字沢町	の一部
同所	同町	字松縄手南	の一部
同所	里根町	字猿ヶ瀬	の一部
同所	外町	字浄土	の一部
同所	同町	字古江	
同所	同町	字備後	の一部
同所	同町	字大善	の一部
同所	同町	字外町	の一部
同所	安清東町	字水原	
同所	同町	字徳田	
同所	同町	字コモ場	の一部
同所	同町	字東安養寺	の一部
同所	同町	字下川原田	の一部

(4) 施行地区区域図

別添図面のとおり

第3 設計の概要

1 設計説明書

(1) 土地区画整理事業の目的

本地区は、JR彦根駅の東側に位置し、彦根市の中心市街地の一部に含まれる立地条件にありながら、交通アクセスが不十分なことから土地利用が思うように進まず、住環境の好ましくない地域となりつつあるため、早急に秩序ある基盤整備を行う必要が生じている。

このため、彦根駅東口の開設計画に伴い、駅前広場及びこれに接続する都市計画道路を整備し、交通拠点機能を高めるとともに、各種公共施設の整備を図り、湖東・湖北地域の中核都市にふさわしい多様な都市サービス機能を提供することを目的として土地区画整理事業を施行する。

(2) 施行地区の土地の現況

(イ) 本地区の概要

本地区は、市内の主要公共機関、公共施設、商業地区を近隣にもち、日常生活や商業活動等の利便についても恵まれた位置に存している。

しかしながら、彦根駅に東口がないことや、セメント会社の旧引き込み線が地区中央を分断するように走っていたことなどから、地区内の都市基盤整備が思うように進まず荒廃地が増加している。特に国道8号に隣接しているところでは、流通・倉庫業など沿道業務施設が進出し、今後も無秩序な土地利用が進むことが予想され、滋賀県及び彦根市で立案されている他の整備計画と連携を保ちつつ、より効果的な整備が望まれている。

(ロ) 地区内人口・人口密度

地区内人口は、約90世帯220人で、人口密度は12人/haとなっている。

(ハ) 土地利用の現況

土地利用状況は、宅地としての利用が最も多く全体の約38%を占め次いで農地が約28%を占めているが、農地の多くは、後継者難や用水不足で荒地となっている。その他の利用状況は、露天駐車場が約6%、荒蕪地が約12%、公共用地が約8%である。

建物は主に国道、県道及び地区西部の鉄道沿線に業務施設・戸建住宅が数十戸点在している。また、隘路に面して賃貸集合住宅が建築されている。

(ニ) 公共施設の現況

本地区の主要道路は、幅員 2 m から 6 m 程度の数路線の狭い市道で、道路密度も低いため十分な土地利用が図れない状況である。

河川は、普通河川猿ヶ瀬川及びその支川が、幹線排水路として地区内を流下しているが、排水能力が不十分で過去幾度となく浸水被害を引き起こしている。

(ホ) 公益施設及び供給処理施設の現況

公益施設は地区内には存在していない。供給処理施設は、上水道、工業水道管路や電力、電話線路が敷設されている。

上水道は、市道古沢町南古町・松縄手南線及び安清東・古沢線に  $\phi 150$  mm、彦根駅里根線に  $\phi 75$  mm、外町古江・備後線に  $\phi 50 \sim 100$  mm が敷設されている。その他  $\phi 50$  mm 以下の上水道管が数路線敷設されている。

工業水道は、地区外のゴルフ場等へ供給される管路として、地区内に敷設されている。

電気及び電話は、道路上に関西電力株式会社の電柱により共架で配電されている。

下水道は、彦根市公共下水道事業認可区域ではあるが、本地区内にはまだ敷設されていない。

(ハ) 公共交通施設の現況

本地区の西側に隣接して、J R 東海道本線、近江鉄道本線の彦根駅があり、近江鉄道の主要車両基地の一部が地区内に含まれている。

(ト) 市街化の現況と動向

地区内の狭隘道路沿いに住宅や業務施設が建ち、新旧住宅などの混在化が進行しつつある。この傾向のまま放置された場合、将来における地区の合理的な土地利用が困難となるばかりでなく、防災など市街地としての環境が著しく阻害される恐れがある。

(3) 設計の方針

(イ) 土地利用計画

a) ゾーニング

本地区は、商業・業務系ゾーンと住居系ゾーンで構成する。

住居系ゾーンは、既存の居住者のための住宅や地区内外の将来人口の増加に対応するため集合住宅地及び戸建住宅地などの住宅地の造成を行う。

商業・業務系ゾーンは、21世紀に向けて新たな業務機能の導入も含めて業務拠点性の高い施設の配置を誘導する。

b) 街区構成

街区は、各ゾーニングの機能に合わせて商業・業務地区で短辺30～70m、長辺100～200m、住居地区で短辺30～40m、長辺100～120mを標準とした大きさになるようにする。

(ロ) 人口計画

本地区の計画人口は、おおよそ1,800人（人口密度約100人/ha）として計画する。

(ハ) 公共施設計画

a) 道路計画

幹線道路は、一般県道彦根城線と主要地方道彦根近江八幡線とを結ぶ都市計画道路3・4・32古沢安清線(19m)と国道8号と古沢安清線とを結ぶ都市計画道路3・4・33彦根駅里根線(19m)により構成し、主要地方道彦根近江八幡線と都市計画道路3・4・32古沢安清線は跨線橋高架部での交差を計画する。

また補助幹線道路として、駅前広場より彦根駅里根線を経由して主要地方道彦根近江八幡線に至る道路(16m)を配置する。

これらの他、宅地へのアクセスや不必要な通過交通の排除など、良好な居住環境の創造に配慮し、幅員12m～6mの区画道路を適宜配置する。

**追記** なお、都市計画道路3・4・32古沢安清線高架部本線及び関連する区画道路の一部については用地確保に留め、主要地方道彦根近江八幡線安清跨線橋改築に合わせて他事業にて整備する。

b) 駅前広場計画

彦根駅東口の開設および自由通路設置にともない、東口駅前広場(5,500㎡)を整備し、交通拠点としての機能の充実を図る。

c) 公園・緑地計画

うるおいと個性ある駅前空間を創出するため、駅前広場に面した街区に公園を設け、大型街区との一体的な活用を図る。また、いこいの場として住居系街区に公園を開設する。

**追記** なお、第3号公園及び緑地については用地確保に留め、主要地方道彦根近江八幡線安清跨線橋改築に合わせて他事業にて整備する。



d) 河川、排水施設計画

本地区は下水道整備基本計画では猿ヶ瀬排水区に属し、猿ヶ瀬第1雨水幹線及び第3雨水幹線により地区外に排水する計画であるが、J R 東海道本線及び近江鉄道本線横断箇所から上流側が未改修のため、当該土地区画整理事業と並行して改修を進める計画である。

(二) 供給処理施設の計画

a) 上水道の整備計画

計画地における将来の給水需要に対応するため、当該土地区画整理事業と並行して、道路に上水道管の敷設又は移設を行う。

b) 下水道の整備計画

計画地における将来の汚水処理需要に対応するため、当該土地区画整理事業の施行と並行して、道路に污水管を敷設する。

c) 電気、ガス、電話の整備計画

空間修景を創出するため、~~幹線道路等については、電線類の地中化を検討するものとし~~、都市計画道路 3・4・32 古沢安清線及び都市計画道路 3・4・33 彦根駅里根線について、電線共同溝により電線類を地中化するものとし、電気・ガス・電話は、それぞれの将来の需要に合わせた供給を図る。

## (4) 整理施行前後の地積

## (イ) 土地の種目別施行前後対照表

種 目			施行前			施行後		備考	
			地積 (㎡)	%	筆数	地積 (㎡)	%		
公 共 用 地	国 有 地	道 路				1,211.74	0.68		
		水 路							
		小 計				1,211.74	0.68		
	地 団 方 体 公 所 共 有 地	道 路	24,603.12	13.89	106	42,836.50	24.18		
		駅前広場				5,501.36	3.11		
		水 路	4,863.64	2.75	9	3,895.98	2.20		
		公園緑地				6,313.51	3.56	内 211.50 ㎡消防用 地	
		小 計	29,466.76	16.64	115	58,547.35	33.05		
	合 計			29,466.76	16.64	115	59,759.09	33.74	
	宅 地	民 有 地	田	41,747.00	23.57	88	105,458.62	59.54	
畑			1,116.00	0.63	3				
宅 地			59,317.48	33.49	148				
雑 種 地			30,619.82	17.29	103				
公衆用道 路			260.10	0.15	6				
鉄道用地			4,956.00	2.80	8				
計			138,016.40	77.92	356				
国 団 地 体 方 所 公 有 共 地		国 普 通 財 産							
		市 普 通 財 産	7,714.69	4.36	19				
		計	7,714.69	4.36	19				
合 計			145,731.09	82.28	375	105,458.62	59.54		
保 留 地						11,907.00	6.72		
測 量 増 減			1,926.86	1.09					
総 計			177,124.71	100.00	490	177,124.71	100.00		

(㊦) 減歩率計算表

整理前 宅地面積 (台帳地積 )	同 更正地積 (測量増減 を加減し たもの)	整理後宅地地積		差引減歩地積		減歩率	
		保留地を 含めた 宅地地積	保留地を 除いた 宅地地積	公共 減歩 地積	公共保留 地を合算 した減歩 地積	公共 減歩率	公共 保留地 合算減歩 率
(A)	(B)	(C)	(D)	(B - C)	(B - D)	$\left(\frac{B - C}{B}\right)$	$\left(\frac{B - D}{B}\right)$
m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	%	%
145,731.0 9	147,657.9 5	117,365.6 2	105,458.6 2	30,292.33	42,199.33	20.52	28.58

(5) 保留地の予定地積

整理前宅地 価格総額 (予想)	整理後宅地 価格総額 (予想)	宅地価格総 額の増加額	整理後 1 m <sup>2</sup> 当 り予定 価 格	保留地 を取り得 る最大限 地 積	保留地 の予定 地 積	割 合	摘 要
千円	千円	千円	円	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	%	
6,866,390	9,382,560	2,516,170	79,943	31,475	11,907	37.83	

(6) 公共施設整備改善の方針

(イ) 施行地区に関する都市計画決定状況

事 項			決定・変更年月日	備 考
市 街 化 区 域			昭和46年 6月11日	滋賀県告示第236号
地域地区	用途地区	準工業地域	昭和48年12月28日 平成 8年 6月 5日	滋賀県告示第521号 滋賀県告示第288号
都市施設	道 路	3・3・5 川瀬・古沢線	昭和48年12月28日	滋賀県告示第524号
		3・4・20 原長曾根線	昭和40年12月21日 平成10年 3月31日	建設省告示第3424号 滋賀県告示第173号
		3・4・32 古沢安清線	平成10年 3月31日	滋賀県告示第173号
		3・4・33 彦根駅里根線	平成10年 3月31日	滋賀県告示第173号
	下水道	彦根長浜都市 計画下水道	昭和57年 1月30日 平成13年 3月31日	彦根市告示第6号 彦根市告示第24号
市街地 開発事業	彦根長浜都市計画事業 彦根駅東土地区画整理事業		平成10年 3月31日	彦根市告示第47号

(ロ) 用途地域等

当該土地区画整理事業に伴う土地利用計画に基づき地域地区の変更をし、さらに地区計画の導入を図っていく。

(ハ) 公共施設別調書（同時施行を含む。）

区分	名称	道路種別	形状寸法			整備計画	摘要
			幅員 m	延長 m	面積 m <sup>2</sup>		
道 市 計 画 道 路	3・3・5 川瀬・古沢線	□	平均 4.0	400	1,211.74  (滋賀県 帰属46.76m <sup>2</sup> 別途)	地区外を含む幅員構成 「5.5m-15m-4.5m」 舗装：車道 A s 舗装 歩道 A s 舗装 側溝：U型 植栽：高木及び低木 施設：照明施設	昭和48年12月28日 滋賀県告示第 524号  別途施行
	主要地方道 彦根近江八幡線 (3・4・20 原長曾根線)	◎	6	196	1,375.71  (外町交差 点部滋賀県 帰属40.76 m <sup>2</sup> を含む)	地区外を含む幅員構成 「4m-11.2m-6m」  一般部 本線：高架式 側道：地表式(歩車共存道) 歩道：地表式及び地下式 舗装：A s 舗装 側溝：U型 施設：照明施設 鉄道横断部 本線：橋梁式 歩道：地下式 舗装：A s 舗装 施設：照明施設	平成10年 3月31日 滋賀県告示第 173号  側道(市道 安清東・外町 線)を整備  本線部、地下式歩道 は別途施行
	3・4・32 古沢安清線	◇	19.0 ～21.7	674	14,173.67  (滋賀県 帰属23.16m <sup>2</sup> を含む)	一般部(幅員 19m 延長 459m) 幅員構成「4.5m-10m-4.5m」 盛土高：1.5m 舗装：車道 A s 舗装 歩道 インターロッキング舗装 側溝：U型 植栽：高木及び低木 施設：照明施設 高架部(幅員 21.7m 延長 215m) 本線：高架式「11.2m」 側道：地表式「6m-4.5m」 舗装：車道 A s 舗装 歩道 インターロッキング舗装 側溝：U型 施設：照明施設	平成10年 3月31日 滋賀県告示第 173号   <b>追記</b> 高架部本線の工事は、将来 主要地方道彦根近江八幡線 の施工を待って、別事業に て施工

区分	名称	道路種別	形状寸法			整備計画	摘要	
			幅員 m	延長 m	面積 m <sup>2</sup>			
道 路	都市計 画 道 路	◇	19.0	259	5,243.81	幅員構成「4.5m-10m-4.5m」 盛土高：1.5m 舗装：車道 A s 舗装 歩道 インターロッキング舗装 側溝：U型 植栽：高木及び低木 施設：照明施設	平成10年 3月31日 滋賀県告示第 173号	
		◇	—	—	5,501.36	盛土高：0.7m 舗装：車道 A s 舗装 歩道 インターロッキング舗装 側溝：U型 植栽：高木及び低木 施設：照明施設	平成10年 3月31日 滋賀県告示第 173号	
	小計			1,529	27,506.29			
	区画 道 路	幅員 16 m		16.0	590.6	9,060.28	幅員構成「4.5m-7m-4.5m」 盛土高：1.0m 舗装：車道 A s 舗装 歩道 A s 舗装 側溝：U型 施設：照明施設	
		幅員 12 m		12.0	25.7	324.39	幅員構成「7.5m-4.5m」 盛土高：0.5m 舗装：車道 A s 舗装 歩道 A s 舗装 側溝：U型 施設：照明施設	

区分	名称	形状寸法			整備計画	摘要	
		幅員 m	延長 m	面積 m <sup>2</sup>			
道 路	区 画 道 路	幅員 8 m	8.0	294.5	2,497.85	盛土高：0.5m 舗装：As舗装 側溝：U型	
		幅員 6 m	6.0	1,644.2	9,911.35	盛土高：0.8m 舗装：As舗装 側溝：U型	追記 古沢安清線高架部本線周辺 の一部工事は将来別事業で 施工
		小計		2,555.0	21,793.87		
	特 殊 道 路	幅員 6 m	6.0	19.7	118.11	盛土高：1.0m 舗装：インターロッキング舗装 側溝：U型	歩行者専用道路
		幅員 4 m	4.0	32.9	131.33	盛土高：0.8m 舗装：As舗装 側溝：U型	歩行者専用道路
		小計		52.6	249.44		
	道 路 計		4,136.6	49,549.60			
公 園 緑 地	第 1 号 公 園	/	/	1,912.48	盛土高：1.1m 植栽：中高木及び低木 施設：車止め、照明施設、 ベンチ、せせらぎ等	植栽、施設工は別途施行	
	第 2 号 公 園	/	/	2,541.99	盛土高：4.9m 植栽：中高木及び低木 施設：広場、園路、遊戯施設	植栽、施設工は別途施行	

区分	名称	形状寸法			整備計画	摘要
		幅員 m	延長 m	面積 m <sup>2</sup>		
公園・緑地	第 3 号 公園			299.83	盛土高：1.0m <del>植栽：低木</del> <del>施設：広場、園路</del>	<b>追記</b> 古沢安清線高架部本線周辺の一部工事は将来別事業で施工
	第 4 号 公園			499.87	盛土高：0.1m 植栽：中高木及び低木 施設：広場、遊戯施設	植栽、施設工は別途施行 (内78.87㎡は防火水槽用地)
	第 5 号 公園			683.35	盛土高：0.1m	植栽、施設工は別途施行 (内132.63㎡は防火水槽用地)
	緑 地			375.99		
	公園・緑地 計			6,313.51		
河川・水路等	猿ヶ瀬第1雨水幹線 (暗渠)	5.60～ 10.70	343.8	3,040.15	ボックスカルバート 4,600～4,200×2,000	別途施行 平成13年3月23日 滋賀県指令下水建第141号
	猿ヶ瀬第3雨水幹線 (暗渠)	3.50	268.2	— (道路を占用)	ボックスカルバート 3,100×1,700～1,800	別途施行 平成13年3月23日 滋賀県指令下水建第141号



区分	名称	形状寸法			整備計画	摘要
		幅員 m	延長 m	面積 m <sup>2</sup>		
河 川 ・ 水 路 等	猿ヶ瀬第1雨水幹線 (暗渠)	5.14	42.3	— (道路を占用)	ボックスカルバート 4,600×2,000	別途施行 平成13年3月23日 滋賀県指令下水建第141号
	猿ヶ瀬第1雨水幹線 (開渠)	6.90～ 7.10	88.2	438.46	魚巢・緑草ブロック 多自然型鳥魚巢 ブロック王	別途施行 平成13年3月23日 滋賀県指令下水建第141号 親水広場として整備
	猿ヶ瀬第1雨水幹線 (暗渠)	2.96～ 3.56	253.7	417.37 (道路占用部 を除く)	ボックスカルバート 2,600×1,800	別途施行 平成13年3月23日 滋賀県指令下水建第141号

区分	名称	形状寸法			整備計画	摘要
		幅員 m	延長 m	面積 m <sup>2</sup>		
河川・水路等	第1号水路(暗渠)	1.50	344.0	— (道路を占用)	ボックスカルバート 1,200×1,200	
	第2号水路(暗渠)	1.20	122.6	— (道路を占用)	ボックスカルバート 900×1,200	
	河川・水路等 計		1,462.8	3,895.98		
	合 計			59,759.09		

(7) 法第2条第2項に規定する事業の概要

(イ) 事業の施行に係る土地利用の促進のための必要な工作物その他の物件の内容

① 上下水道整備計画

本事業により、地区全域に渡り上下水道を敷設するための負担金を支出する。

2 設計図

別添図面のとおり

第4 事業施行期間

自 平成11年（1999年）11月26日

至 令和6年（2024年）3月31日

## 第5 資金計画書

### 1 収 入

区 分	金額（千円）	摘 要
国庫負担金又は補助金	3,262,732 2,848,674	過年度分 +継続国庫補助事業費×国費充当割合
市 費	4,388,383 3,735,285	事業費合計－保留地処分金－公管金 －国庫負担金または補助金
保 留 地 処 分 金	1,336,885	既処分+年次別処分計画
そ の 他		
計	8,988,000 7,920,844	
公共施設管理者負担金	300,000	国道8号
合 計	9,288,000 8,220,844	

他事業施行分

事業名称	事業費（千円）	摘要
国 道 8 号	240,000	平成19年度～20年度
安 清 跨 線 橋 改 築	1,819,000	未定
<b>追加</b> 古沢安清線高架部本線整備	1,067,156	未定
彦 根 城 線 交 差 点 改 良	222,600	平成18年度～22年度
里 根 交 差 点 改 良	55,700	平成14年度～21年度
彦 根 駅 舎 自 由 通 路 整 備	665,100	平成13年度～17年度
猿ヶ瀬雨水幹線整備	922,000	平成13年度～未定
猿ヶ瀬川改修	283,729	平成12年度～16年度
公共減歩緩和分先行買収地買戻し	607,180	平成24年度 (買戻し面積15,077㎡)
彦根駅東自転車駐車場整備	227,000	平成19年度～20年度
公 園 整 備	121,000	平成18年度～未定
高 質 空 間 形 成	189,600	平成20年度～27年度
里 根 踏 切 代 替 施 設 整 備	790,000	未定
合 計	<b>6,142,909</b> 7,210,065	

2 支 出

事 項			単 位	事業量	事業費 (千円)	摘 要	
公 共 施 設	築 造	道 路 築 造 費	幹 線 道 路	m	1,129.0	1,482,700 661,500	
			区 画 道 路	m	2,607.6	514,200 461,700	
	造	水 路 築 造 費	支 線 水 路	m	466.6	98,400	
			公 園 整 備 費	m <sup>2</sup>	6,313.51	21,300 17,300	
			計			2,116,600 1,238,900	
	移 転	建 物 移 転 費	戸	118	4,299,800		
			計		4,299,800		
	備 費	移 設	電 柱 移 設 費	本	110	26,200	上水道等含む
			鉄 軌 道 移 設 費	式	1	706,500	
			計		732,700		
法 第 2 条 第 2 項 該 当 事 業	法 79 条 に 基 づ く 一 時 収 容 施 設		戸				
	上 下 水 道		m	5,690.0	289,900 217,900		
整 地 費			m <sup>2</sup>	117,366	648,100		
工 事 雑 費			式	1	85,300		
調 査 設 計 費			式	1	719,200 631,269		
工 事 費 計					8,891,600 7,853,969		
損 失 補 償 費			式	1	163,000		
計					163,000		
事 務 費			式	1	233,400 203,875		
合 計					9,288,000 8,220,844	事業単価 5246千円/m <sup>2</sup>	

### 3 年度別歳入歳出資金計画表

単位：千円

区 分		平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
歳 出	工 事 費	121,652	37,767	109,079	138,636	111,227
	補 償 費				293,223	688,939
	利 子					
	事 務 費	6,348	2,233	6,121	21,054	26,247
	計	128,000	40,000	115,200	452,913	826,413
歳 入	国 費	64,000	20,000	50,000	211,650	367,050
	市 費	64,000	20,000	65,200	241,263	459,363
	保留地処分金					
	公管・その他					
	計	128,000	40,000	115,200	452,913	826,413

区 分		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
歳 出	工 事 費	41,203	135,592	144,978	200,092	443,176
	補 償 費	578,448	356,202	589,830	521,102	167,194
	利 子					
	事 務 費	24,120	19,582	19,392	20,419	9,307
	計	643,771	511,376	754,200	741,613	619,677
歳 入	国 費	282,350	185,250	324,590	230,767	214,875
	市 費	361,421	276,126	219,610	380,783	287,802
	保留地処分金				90,063	117,000
	公管・その他		50,000	210,000	40,000	
	計	643,771	511,376	754,200	741,613	619,677

3 年度別歳入歳出資金計画表（続き）

単位：千円

区 分		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
歳 出	工 事 費	155,027	104,872	142,386	115,014	161,794
	補 償 費	328,935	319,603	419,614	313,724	581,776
	利 子					
	事 務 費	9,596	6,972	6,408	3,606	3,247
	計	493,558	431,447	568,408	432,344	746,817
歳 入	国 費	180,938	56,589	139,906	90,777	205,986
	市 費	238,373	185,983	247,939	149,075	233,690
	保留地処分金	74,247	188,875	180,563	192,492	307,141
	公管・その他					
	計	493,558	431,447	568,408	432,344	746,817

区 分		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
歳 出	工 事 費	151,788	279,812	186,122	40,355	897
	補 償 費	25,493	11,319	98		
	利 子					
	事 務 費	3,675	12,039	3,509		
	計	180,956	303,170	189,729	40,355	897
歳 入	国 費	42,931	116,712	64,303		
	市 費	84,821	162,267	57,569		
	保留地処分金	53,204	24,191	67,857	40,355	897
	公管・その他					
	計	180,956	303,170	189,729	40,355	897



3 年度別歳入歳出資金計画表（続き）

単位：千円

区分		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	合計
歳 出	工事費		41,300	303,200	531,516	161,615	3,859,100 2,821,469
	補償費						5,195,500
	利子						
	事務費		1,400	10,500	17,625		233,400 203,875
	計		42,700	313,700	549,141	161,615	9,288,000 8,220,844
歳 入	国費		15,000	145,000	254,058		3,262,732 2,848,674
	市費		27,700	168,700	295,083	161,615	4,388,383 3,735,285
	保留地処分金						1,336,885
	公管・その他						300,000
	計		42,700	313,700	549,141	161,615	9,288,000 8,220,844

## 第6 参考図書

### 1. 施行規程

### 2. 現況図

(イ) 土地利用及び建物用途別現況

(ロ) 給排水、交通施設、交通量、地下埋設物、土地の所有別現況

### 3. 市街化予想図